



メンバーの皆様へ

2021保険年度の国際P&Iグループ（IG）再保険プログラム（General Excess Loss(GXL)プログラム）が決定しましたので以下の通りご案内します。

クラブ保有額(Individual Club Retention: ICR)とグループ保有額

2020年保険年度から変動はなく、GXLプログラムによってクラブ保有額(ICR)は1千万ドル、グループ保有額は1億ドルとなります。また、Upper Pool layer(5千万ドルから1億ドル部分)におけるクラブ保有額(ICR)も引き続き7.5%となります。

Hydraの関与

2020年保険年度から変動はなく、Hydraは引き続きLower Pool layer(3千万ドルから5千万ドル部分)の100%を保有し、Upper Pool layer(5千万ドルから1億ドル部分)の92.5%を保有します。また、GXLプログラムによって、1st layer(1億ドルから7.5億ドル部分)で70%をマーケット再保険者に出再したうちのAAD(Annual Aggregate Deductible)1億ドルを引き続きHydraが保有します。

船種別IG再保険料率

コンテナ船（Fully Cellular Container Ships(FCC)）が現在IGクラブの加入トン数の約20%を占めていること、そのうえ近年FCCに関する大型クレームが多数発生していることに着目し、船種間の再保険料負担の公平性を確保するため、IGは現行区分けの見直しを検討しました。

上記の結果、IGは以下の結論に至りました。

1. FCCをDry Cargo Vesselsから分離して5つ目のカテゴリーとして新設する。
2. Persistent Oil Tankersについては、改善した保険成績を再保険料率に反映させる。

以上により、2021保険年度の船種別IG再保険料率は以下の通りとなります。

船種	2021 保険年度, 再保険料率(US\$/GT)	2020 保険年度比増減率(%)
Persistent Oil tankers	\$0.5625	-2.1%
Clean Tankers	\$0.2619	+1.4%
Dry	\$0.4028	+1.4%
FCC	\$0.4249	+7.0%
Passenger	\$3.2624	+1.4%

※以上が 2021 保険年度改訂の主な点ですが、詳細は以下原文（英語）をご参照ください。

<https://www.steamshipmutual.com/Downloads/Circulars-London/L.367.pdf>

スチームシップ・ミューチュアル・アンダーライティング・アソシエーション・リミテッド